

公開講座「子ども虐待の発生要因とその対処プログラム

ーメンタルヘルスと貧困を焦点にー

子ども虐待問題の主要な発生要因として指摘される、世帯の貧困と孤立、親のメンタルヘルス問題。これらは複合して世帯全体を追い詰め、虐待発生のリスクを高めるとされます。しかし、これらの要因を総合的に対応するシステムは未確立で、支援機関連携の体制確立やチームマネジメントの課題が指摘されています。子ども虐待対応機関の専門職をはじめこの問題に関心のある方々とともに、子ども虐待の発生要因と支援連携について、講義と演習を通して考えます。

日時 及び 場所	講 師	内 容
10月14日(土) 10:00~16:00 サテライトキャンパスひろしま (広島市中区 大手町1-5-3)	県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 准教授 松宮透高	「子ども虐待とメンタルヘルス問題：講義Ⅰ」 子ども虐待の発生要因、とりわけ親のメンタルヘルス問題との関連性について、調査知見を紹介しながら具体的に学びます。メンタルヘルス問題の捉え方、精神科医療機関との連携ポイント、要保護児童対策地域協議会の機能、先駆的な支援活動例についても紹介します。
	県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 教授 田中聡子	「子ども虐待と貧困・生活問題：講義Ⅱ」 貧困と孤立は、子育て世帯を追い詰める最も重要な要因です。世帯の経済的問題を子育て環境として捉え直し、子どもの育ちや親の育児行動に及ぼす影響を整理します。その上で、安心して子育てができる生活環境整備に向けた課題についてまとめます。
	県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科	「現場の苦労を『見える化』しよう：演習Ⅰ」 参加される皆様の現場での苦労や悩みを率直に話し合い、その苦労が生じる要因について一緒に考えてみましょう。カードや図にして遠くから眺め直すことで、その苦労の構造が明確に見えてくるはずです。その体験は、自分や誰かの問題としてではなく、システムとしての課題と対応のポイントを明らかにしてくれることでしょう。
	准教授 松宮透高 教授 田中聡子	「事例検討と対応技法演習：演習Ⅱ」 模擬事例をもとに、多様な支援機関や専門職がどのように情報を共有し議論を通して対策を明らかにしていけばよいのかを、体験的に学びます。チームとのかかわり方、当事者へのかかわり方を具体的に検討し、ロールプレイで実際に体験してみましょう。

※昼休憩1時間を含みますので、各自で昼食をご準備ください。

- ◆受講対象者：児童福祉担当、要保護児童対策地域協議会関係、児童相談所、児童福祉施設、精神科医療機関等の専門職等
- ◆募集人員：40名(先着順)
- ◆受講料：3,000円
- ◆修了証：受講された方に交付
- ◆申込方法：公開講座申込書(別紙)をご記入いただき、返信用封筒※を同封のうえ、下記へお送りください。
※返信用封筒(長形3号：横120mm×縦235mm)に82円切手を貼付し、申込者の住所・氏名(様)を御記入ください。受講案内等を送付しますので、お一人様一通の返信用封筒をご用意願います。
申込み締切後、10月上旬頃に受講案内と受講料振込案内を返信用封筒にて送付します。
定員に達し、受講できない場合は別途お知らせします。
- ◆申込締切：平成29年9月22日(金)必着
- ◆申込・問合せ先：〒723-0053 三原市学園町1番1号 県立広島大学三原地域連携センター
公開講座「子ども虐待の発生要因とその対処プログラム」係
TEL：0848-60-1200(直通) 0848-60-1120(代表)
E-mail：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp
- ◆主催：県立広島大学三原地域連携センター

(別紙)

受講番号 (区分コードNo)

平成29年度 県立広島大学 公開講座 申込書

講座名	公開講座「子ども虐待の発生要因とその対処プログラム ーメンタルヘルスと貧困を焦点にー」
ふりがな 名前	
現住所	〒
電話	() - 日中の連絡先:
E-mail	
職種	
所属先	

*受講申込に伴う個人情報については、公開講座以外の目的には使用しません。

<主催：県立広島大学三原地域連携センター>